

旧北川町塵芥処理場解体事業（案）の概要

1 事業の目的

旧北川町塵芥処理場は、昭和 56 年 3 月に稼働開始し、広域ごみ処理に伴い平成 10 年 8 月に稼働を停止しました。その後、平成 12 年 3 月、国に財産処分承認申請を行うが、平成 12 年 7 月にダイオキシン類ばく露防止策のとりまとめのため、国より解体工事の自粛要請を受けました。

その後、平成 14 年 6 月に環境大臣より廃棄物処理施設（ごみ処理施設）の処分が承認されました。

不用施設となったごみ焼却施設は、ダイオキシン類が残留し、老朽化した煙突部分の上部にはクラックが入っているため、部分的な倒壊の恐れもあり、専門事業者による解体撤去を実施する必要があります。また、現在北川管内のごみ収集中継基地として収集委託業者も利用しているため、早期に危険防止をする必要があります。このことから延岡市公共施設維持管理計画の個別施設計画に基づき、旧北川町塵芥処理場の煙突・建屋等の解体撤去を行うことで、現地の安全性の向上を図ります。

2 施設概要

建屋構造：工場棟/鉄骨 ALC 造+RC 造 煙突/高さ 30m

付属施設：ストックヤード、車庫、作業員詰所

敷地面積：4,500 m²

建築面積：150 m²

3 事業概要

旧北川町塵芥処理場の煙突、焼却炉、焼却建屋内の有害物質調査・除染のうえ解体撤去を行います。解体後のスペースは、現在のごみ収集中継基地の車両用車庫及び作業スペースとして利用します。

4 予算

約 2 億 4,300 万円を予定。

（主な内訳：本工事 1 億 2,000 万円、共通仮設費約 2,000 万円、現場管理費約 3,200 万円、一般管理費約 3,000 万円、消費税等 2,000 万円、その他物価上昇経費等約 2,100 万円）
財源として公共施設等適正管理推進事業（除去）債（充当率 90%）を活用する見込みです。

5 参考資料

- ・位置図
- ・施設配置図
- ・施設写真